

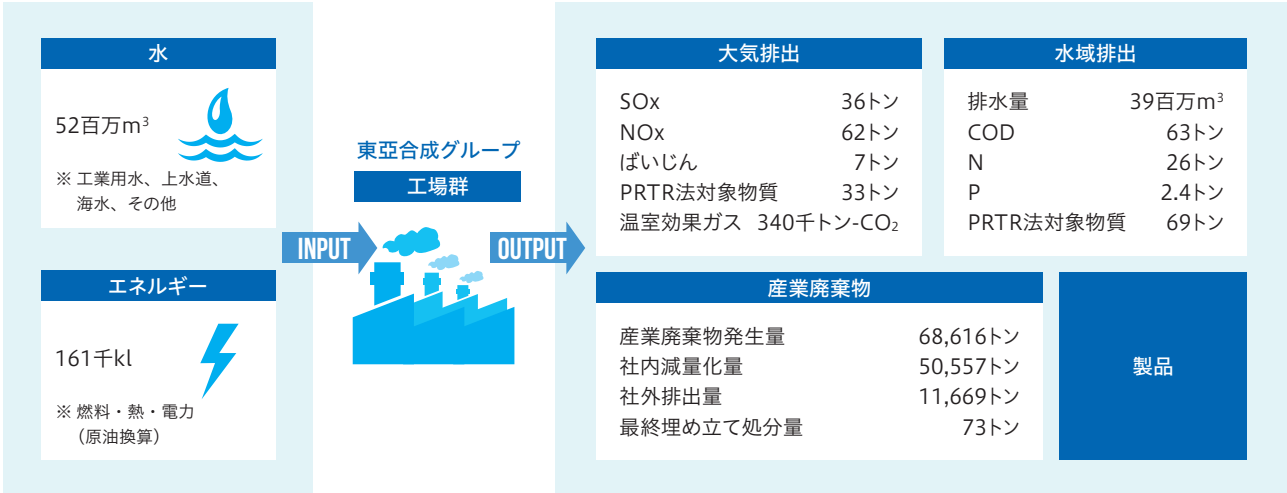
環境方針

全ての事業活動において環境の保全に配慮し、持続可能な社会の発展に努める。

1. 化学工業製品の開発、製造、出荷等の事業活動が環境に与える影響を少なくする。
2. 環境関連の法規制、協定、顧客要求、その他の要求事項を順守する。
3. 日常および定期点検を効果的に行い、事故時・緊急時を含め環境に著しい影響を及ぼさないよう予防処置に努め、必要な訓練を行う。
4. 環境への影響が大きい環境側面に対して、技術的、経済的に可能な範囲で、測定可能な環境目標を定め、その達成度を定期的に評価し、分析し必要な処置をとることにより環境マネジメントシステムのスパイラルアップを行う。また、次の事項に重点的に取り組む。
 - (1) 地球温暖化防止への取組み
 - (2) 環境負荷低減への取組み
 - (3) 循環型社会への取組み
5. 環境パフォーマンスを向上させるため、文書化された環境マネジメントシステムを効果的に実施し、維持管理する。また、全社員および協力事業所に環境方針の理解と周知を図るため、教育および広報活動を推進する。
6. この方針は外部からの要求に応じて開示する。

環境パフォーマンス

集計対象範囲				集計期間
東亜合成 グループ (国内生産拠点)	東亜合成	工場	名古屋工場、横浜工場、高岡工場、徳島工場、坂出工場、大分工場、川崎工場、広野工場	2025年 1月1日から 12月31日まで の1年間
		研究所	名古屋クリエイシオR&Dセンター、先端科学研究所（茨城県）、川崎フロンティエンスR&Dセンター	
	グループ会社	アロン化成	関東工場（茨城県）、名古屋工場、ものづくりセンター（愛知県）、滋賀工場、尾道工場	



環境会計

当社グループでは、環境活動にかかわるコストとその効果を把握し、より効率的な環境保全活動を行うための判断材料とするために、2000年より環境会計を導入しています。具体的には、横浜市と共同で行っているごみ焼却場の蒸気利用によるCO₂削減や、排水処理設備の強化による環境負荷低減対策などの費用を集計しています。

集計対象

東亜合成グループ（国内生産拠点）※P68 環境パフォーマンスデータの集計対象範囲参照

集計方法

1. 環境省環境会計ガイドライン（2005年版）を参考に作成した当社の「算出ルール」で集計しました。
2. 環境保全目的以外のコストを含む複合コストについても、環境への影響度に応じて按分し、環境コストとして集計しています。
3. 投資額は設備の投資実績、費用額は設備の維持管理費、人件費などの実績を集計しました。
4. 効果を明確に算出できるものについては、貨幣単位、物量単位で算出しました。ただし、リスク回避やみなし効果など定量化が困難な効果は含めていません。

コスト分類別環境投資額・費用額(単位:百万円)

2025年環境保全コスト分類(主な取り組み内容)		投資額	費用額
1. 事業エリア内コスト		3,103	9,114
内訳	1 公害防止コスト(大気汚染防止、水質汚濁防止のためのコスト)	2,320	7,306
	2 地球環境保全コスト(地球温暖化防止、省エネルギー、オゾン層破壊防止のためのコスト)	551	1,324
	3 資源循環コスト(資源の効率的利用、産業廃棄物の処理・処分のためのコスト)	233	484
2. 上・下流コスト(生産・サービス活動に伴い上流／下流で生じるコスト:グリーン調達等)		189	35
3. 管理活動コスト(環境マネジメントシステムの整備・運用、環境負荷の監視・測定、環境教育のためのコスト)		146	463
4. 研究開発コスト(環境保全に資する製品等の研究開発、製造段階の環境負荷抑制のためのコスト)		91	1,281
5. 社会活動コスト(自然保護・緑化等環境改善対策、環境保全団体の寄付・支援、地域住民に関係する取組みのためのコスト)		1	40
6. 環境損傷対応コスト(自然修復、環境保全に関する損害賠償等のためのコスト)		26	12
7. その他環境保全に関連するコスト		142	150
合計		3,699	11,095

コストの推移(単位:百万円)

指標名	2021	2022	2023	2024	2025
環境保全目的の投資額	2,600	2,963	2,650	4,361	3,699
環境保全目的の費用額	8,103	10,376	9,133	9,386	11,095

環境マネジメントの認証取得状況

当社グループでは、環境管理の国際規格であるISO14001の認証取得継続を進めており、環境に配慮して製品の開発・製造を行い、サービスを提供しています。環境マネジメントシステム・ISO14001については1998年から認証取得を開始し、国内12工場すべてにおいて、海外グループでは5社で認証を取得しています。

今後も海外を含むグループ会社において、ISO14001の認証取得を進めていきます。

ISO14001認証取得事業所の詳細

東亜合成単体(工場取得率100%)

工場名	取得番号	取得年月
名古屋工場	JMAQA-E960	1998年 12月
高岡工場		1998年 12月
徳島工場		1999年 2月
坂出工場		1999年 2月
横浜工場		2003年 3月
広野工場		2005年 11月
大分工場		2007年 5月
川崎工場		2010年 4月

国内グループ会社

会社名	取得番号	取得年月
アロン化成株式会社(4工場)	JCQA-E-0891	2002年 4月